

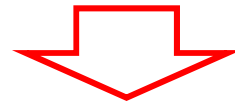
R2年4月2日
部長会議
建設部 住宅課

災害公営住宅の整備について

建設部 住宅課

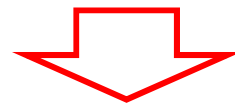
仮設住宅には入居期限がある

多くの仮設住宅が 令和3年10・11月 に入居期限を迎える



入居期限を迎える前に

自力で住宅を確保できない被災者への**安定した住居が必要**



入居期限に間に合わせるため

- ①入居者を確定できた戸数で建設に着手し、
- ②アンケート調査や地元調整により、必要戸数、
建設地を確定し、必要に応じた整備を進める。

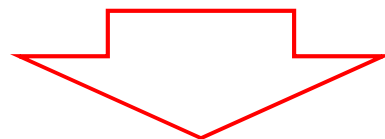
災害公営住宅とは

住宅再建困難な被災者向けに国の助成を受けて整備する公営住宅

1. 最大で建設費の約3/4が国から補助金として交付される
(通常の市営住宅建替えは1/2)
2. 被災者であれば収入にかかわらず入居可能
(3年間の期限付き・4年目以降は通常の市営住宅と同様)
3. 市営住宅並みの家賃がかかる
(収入超過者: 3年までは家賃低減、4年目以降は家賃上がる)

建設地の検討

- ストック総合活用計画(公共施設個別施設計画)
令和30年までに沖団地を美濃和田団地に統合する計画
- 地元の要望・合意
 - ・美濃和田団地敷地に建替えることには同意
 - ・沖団地敷地に公民館を含む複合施設の要望 ⇒ 調整中



- ① 先行して、美濃和田団地跡地に建設する。
- ② 必要に応じ、追加して建設する際に建設地を確定する。

整備戸数の検討

沖団地入居者聞き取り と 復興局アンケート から推計

	回答数	最大必要戸数	最小必要戸数
① 沖団地入居者聞き取り	68		
災害公営住宅入居希望	54	54	54
未検討、考えられない	3	3	
小 計		57	54
② 復興局アンケート	1,690		
災害公営住宅入居希望者	36	26	←※沖団地入居者を除く
既設市営住宅入居希望	23	10	←※豊野地区希望者数
未検討、未回答	1,012	27	←※一定割合を見込む 2.7% (36+10)/1690
小 計		63	
合 計		120	54

- ①先行して、**最小必要戸数 54戸** を計画する。
 ※建設の際には今後のアンケート調査等により戸数を精査する。
- ②**最大必要戸数**は120戸と想定する。
 ※国との協議により精査する。

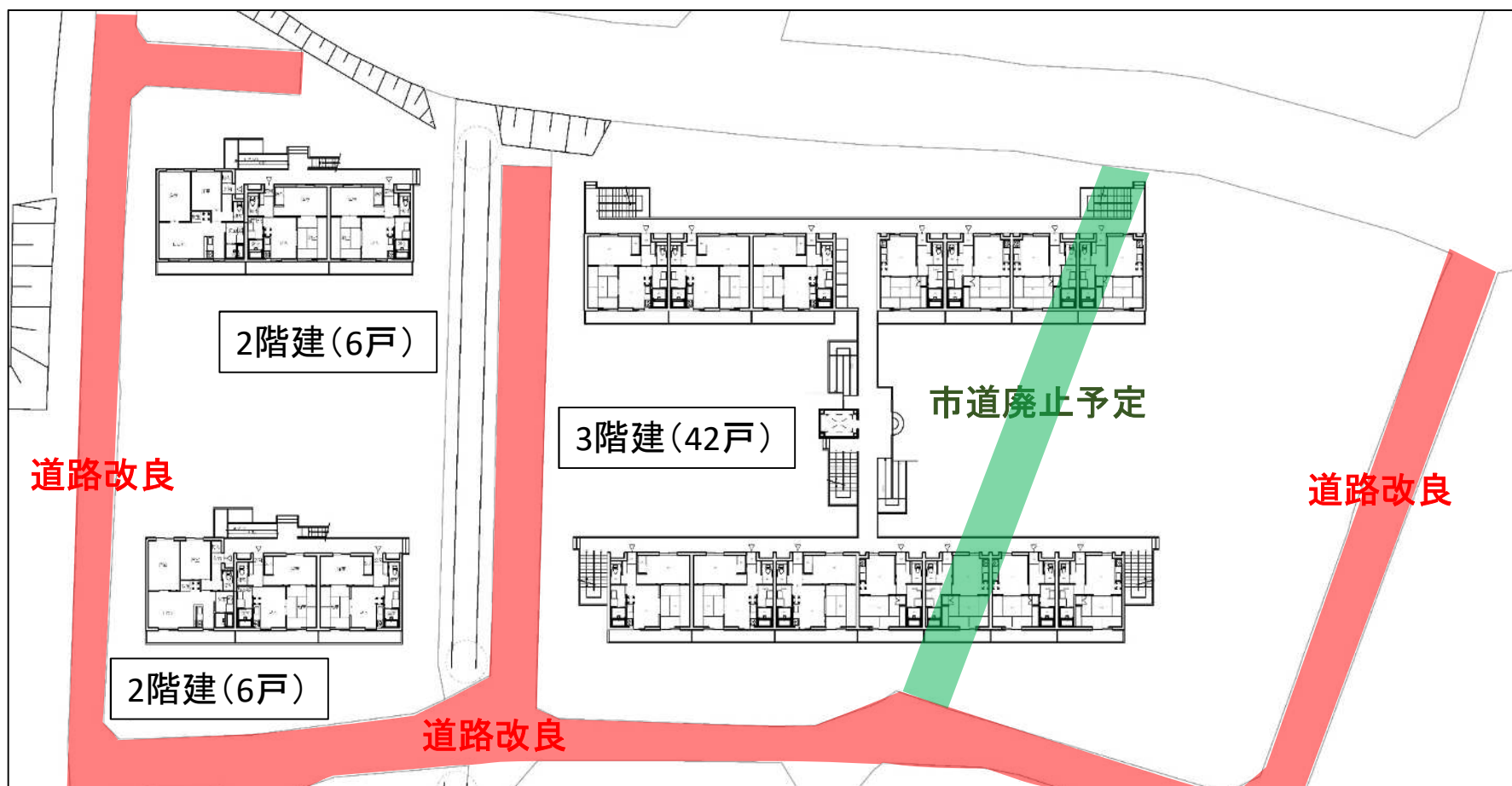
災害公営住宅美濃和田団地整備事業 計画概要

規模：2階もしくは3階建て

間取り：1DK・24戸 2DK・26戸 2LDK(3DK)・4戸 合計54戸

(割合は入居希望者の世帯数より想定)

【想定プラン図面(案)】



スケジュール [災害公営住宅美濃和田団地整備事業]

	令和2年度					令和3年度		
	2月	4月	7月	10月	1月	4月～9月	10月	11月～
プロポーザル (業者選定業務)		●————●			●			
		選定 委員会	プロポーザル	選定業者確定				
設計施工				●————●		●————●		竣工
				設計業務		建設工事		
解体工事		●————●						
議会			●——●		補正予算	●——●		売買契約議決
完成引渡し							●————● 引越 入居開始	

工期：令和3年度10月中旬 （概算費用は7月頃算定する）

入居：令和3年度11月末までに完了